

「確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする生徒の育成」 ～考え、話し合い、学び合う学習をとおして～



- 学校名 春日部市立大沼中学校
- 所在地 春日部市大沼6丁目75番地
- 電話番号 048-736-9986
- E-mail numa-chu@educet.plala.or.jp
- URL <http://www.onumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/>

1 研究主題

「確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする生徒の育成」
～考え、話し合い、学び合う学習をとおして～

(1) 研究主題の設定の理由

本校は平成26年度から、埼玉県教育委員会より「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業の委嘱を受け、全職員で授業改善に取り組んでいる。

平成26年度の学校評価「保護者アンケート」では「子どもは授業がわかりやすいと言っている」と答えた保護者は66%と高くはない状況であったが、平成27年度には73%まで上昇した。この2年間、授業の中で本時の目標設定や、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりする授業、振り返る活動を全校体制で実施してきた。

また、上沖小学校との小中連携をとおして小学校6年生がスムーズに中学校の授業に慣れるよう、教科学習の段差を小さくし、その上で中学校の教科の専門性を発揮し教師がしっかり教え生徒がきちんと学ぶ授業を実現していきたいと考える。

本年度も引き続き小中学校の円滑な連携を基盤にしつつ、全教科で教師主導の一斉授業だけでなく、生徒が相互に学び合う学習を取り入れることで確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする生徒を育成したいと考えた。

(2) 研究の具体的内容

ア 研究の仮説

全教科で「考え、話し合い、学び合う学習」を行うことで、思考力・判断力・表現力を相互に高め、確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする生徒を育成することができるだろう。

イ 研修部会

①授業研究部

「小中連携を生かし学んだことを実践できる授業づくり」を目標に、課題設定の明確化、交流、学習形態の工夫、思考ツールの積極的な活用、振り返りの時間の確保、次時の授業内容の予告を行う。

今年度は一人一研究授業（1回以上）を計画し、全教科での授業実践に取り組む。

②黄金サイクル・環境部

「黄金サイクル（予習→授業→復習）を活用し、授業に意欲的に取り組む生徒の育成と授業に集中できる環境づくり」を目標に家庭、地域の協力も得ながら黄金サイクルの取組の継続を行う。また、授業規律の面では、3分前入室、1分前着席や教室美化コンクール、道徳的掲示物の作成を行う。さらに、苦手教科の克服と学習習慣の定着に向けて、定期テスト前と長期休業中に「学習会」の実践を行う。

【平成28年度埼玉県学力・学習状況調査より】

	埼玉県	大沼中
1年	71.0%	75.5%
2年	57.6%	67.7%
3年	50.7%	61.9%

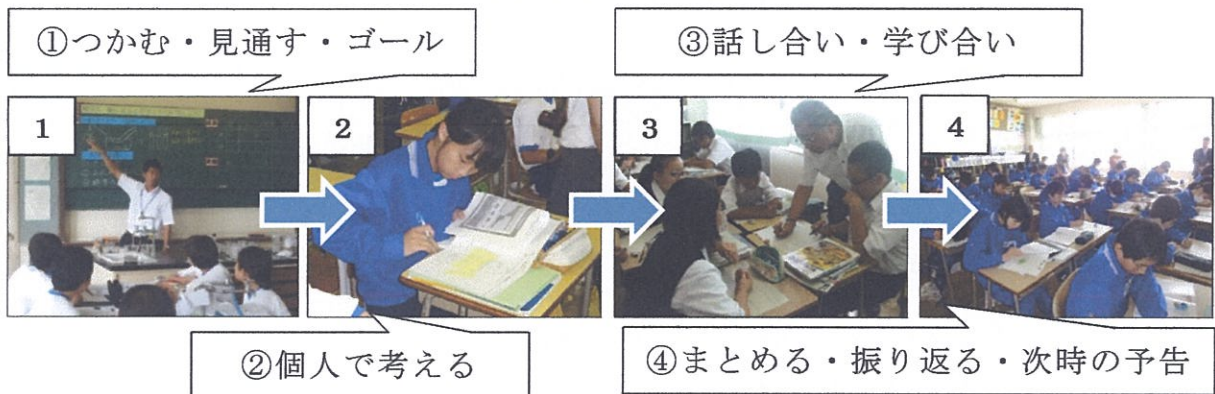
「学校の予習や復習をしている」
大沼中は黄金サイクル（予習→授業→復習）で学力向上を目指しています！

③調査・統計部

学び合い学習の授業づくりのため及び保護者との連携を深めるための調査・統計の実施、アンケート等の分析を行う。また、全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果をもとに、分析を行う。

2 研究の実践

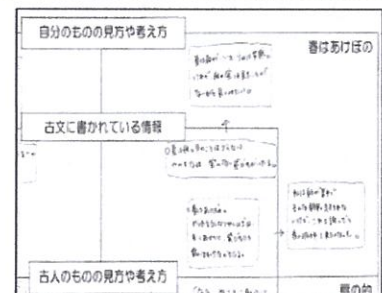
(1) 大沼中の学び合いの基本を重視した授業展開例



(2) 思考ツールの実践事例

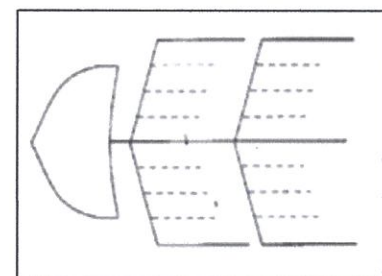
ア【読解マップ（2年国語）】

古典から生き方を学ぶ単元で、「読むこと」の学習を行った。古典の物の見方や考え方を読解マップを使って整理した。その読解マップに感想欄を設け、自分の生き方や考え方を見つけ直す授業を展開した。



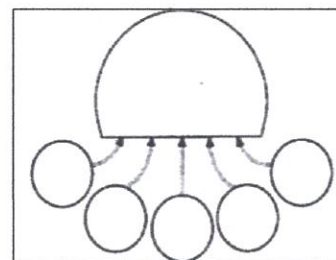
イ【フィッシュボーン図（2年数学）】

1次関数でグラフから式を求める授業を行った。わかっていることが直線と原点のみで、X軸Y軸は自分で決める。グラフの見方によって式が異なるので、4通りの式が求められる。それぞれの式と理由を骨の部分に書いた。



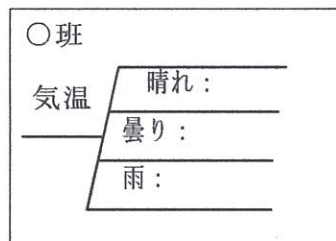
ウ 【クラゲチャート (1年社会)】

アメリカはなぜ多様な農産物を大量に生産できるのかを資料から読み取り、その理由を付箋に書いてクラゲチャートに貼った。それをういてグループでの話し合い活動につなげた。



エ 【くま手チャート (2年理科)】

「気温・湿度・気圧と変化の関係」を学習する授業で、晴れ、雨、曇りのそれぞれの天気と気温、湿度、気圧の関係をグラフから読み取った。個人で考えた後、話し合い活動を行い、わかりやすく発表するためにくま手チャートにまとめた。



(3) 学習形態の工夫

ア <ペア>



イ <小グループ>



ウ <コの字形>



エ <ジグソー学習>



実践例1 (2年体育) ハードル走

1人1役で、ハードルのポイントを理解し、同じグループの友達に伝える。3人での3つのハードルのポイントを知識として入れ、どれが効果的か話し合い、学び合う。

実践例2 (1年英語) ALTの家族の紹介

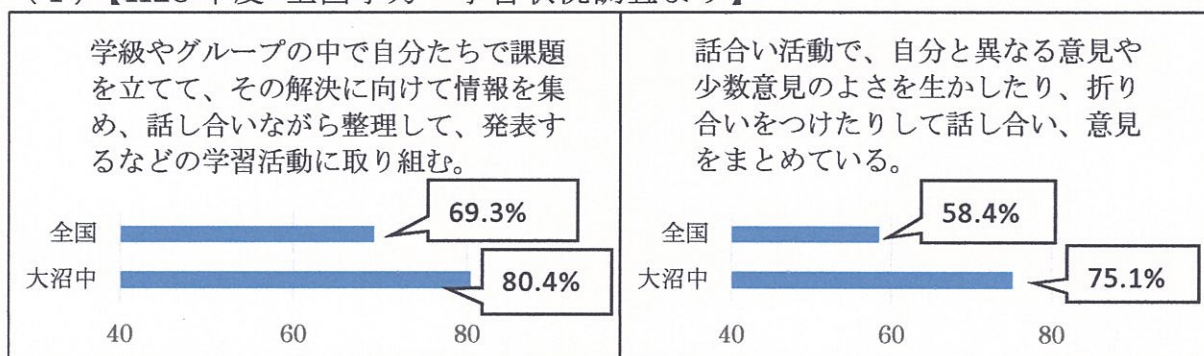
1人1役の家族の紹介を聞き、同じ紹介を聞いたグループで集まり再現する。完成したものを元のグループに伝え合い、ALTの家族の紹介を完成する。

(4) グループ学習の支援 (ホワイトボード、付箋の活用)

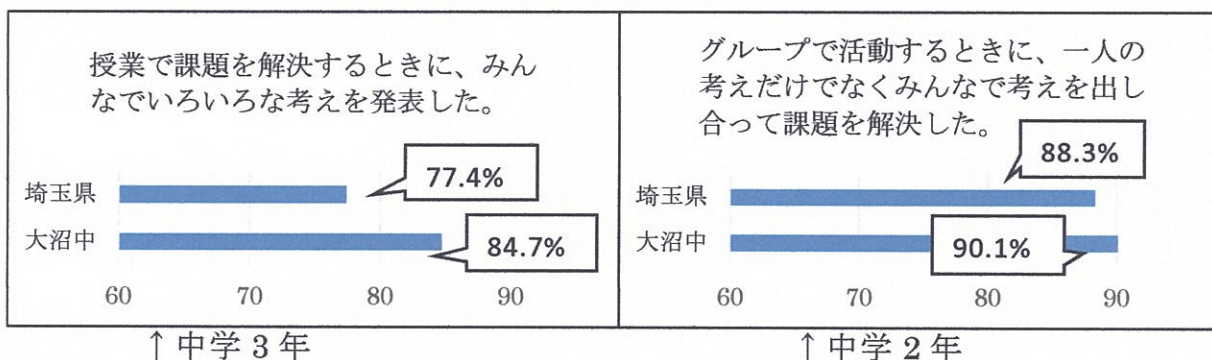
ホワイトボードや、付箋を活用すると話し合い活動が活発になる。ワークシートをラミネート加工したものも、ホワイトボード用マーカーで書き込みが可能で便利である。

3 研究の成果と課題

(1) 【H28年度 全国学力・学習状況調査より】



(2) 【H28年度 埼玉県学力学習状況調査より】



(3) 【生徒の授業感想より】

- ア 友達と私の意見は全然違うこともあり、「なぜそう思うの?」という理由を聞くと自分が思いつかないようなことを考えていて「こんな考えもあるんだ」と思えて嬉しい。
- イ 分からない問題を友達と話し合い、学び合う中で解くことができ分かる喜びを味わえる。
- ウ 自分の意見を話すことはあまり得意ではないけれど、周りが話しやすく環境をつくってくれることによって良い雰囲気になり、発表することに自信をもてるようになった。

(4) 【成果と課題】

- ア○継続して話し合い活動を続けてきているので、生徒は以前より意見を言えるようになってきていて、表現する力もついてきた。また、授業の中で助け合いが見られるようになってきた。
- イ○ジグソー学習のように1人1役を与えることにより、生徒は学習に対する必然性を見いだすことができるので、主体的に取り組む姿が見られた。
- ウ○振り返りの時間を大切にすることで、生徒は今日の学びを実感できるようになり次時への授業の意欲につながることができた。
- エ▲意見を出すときに間違えたり、笑われたりしないか心配で自分の意見を出しにくいと感じている生徒がいるので、教師は生徒が自由に意見を出しやすい環境づくりや工夫を考えていく。
- オ▲教師は単元全体と毎時間の授業の課題を大切にし、生徒が見通しを持って授業に参加できるような授業を組み立てる必要がある。

カ▲生徒が意欲的に活動していることで教師が満足してしまい、本来身に付けさせたい力やねらいの達成が十分でない面がある。